

みやこしま しんりん 宮古島の森林について

みやこしま しんりんりつ ◆宮古島の森林率◆

みやこしま しんりんりつ しま めんせき し しんりんりつ わりあい
宮古島の森林率（島の面積に占める森林率の割合）は、16%で、森林率46%の沖縄県の中で
もっと すく みやこしま やま へいたん しま むかし しんりんりつ ひく しゅうせんご
最も少ないです。宮古島は、山がない平坦な島のため、昔から森林率が低かったが、終戦後に
らんばつ とうばつ しんりん へ さら ふつきごやく しんりんりつ とちかいりょう たくちぞうせい
は乱伐や盗伐で森林が減り、更に復帰後約30%あった森林率は、土地改良や宅地造成によって
きゅうげき げんしょう
急激に減少しました。

みやこしま しよくりん はじ ◆宮古島の植林の始まり◆

しらかわうじけいこん はじ りゅうきゅうまつ う しよくりん はじ
1655年に、白川氏恵根が初めて琉球松を植えたのが植林の始まりです。
りゅうきゅう せいじか さいおん ざいにんきかんちゅう ぞうりん せつきよくてき すいしん みやこしまとうない しよくりん ぞうりん
琉球の政治家・蔡温は、在任期間中、造林を積極的に推進し、宮古島島内250haに植林、造林
かつどう ほんかくか
活動が本格化しました。

みやこしま しんりん ◆宮古島の森林◆

いちばんおお しんりん おおのさんりん めんせき
一番大きな森林は、大野山林で面積は119haです。

アカギやタブノキ、ヤブツバキなど、いろんな種類の樹木、アカショウビンやサンコウチョウ
など多くの野鳥を見ることができます。また、遊歩道が整備されて、市民の憩いの場となっ
ています。

みやこしま おも ざいらいしゅ むかし き ◆宮古島の主な在来種(昔からある木)◆



イヌマキ



テリハボク



フクギ



ブソウゲ



タブノキ



ヤブツバキ

くらしに役立つ木



水源林：すいげんりん 雨水が地面にしみこんで、たくさんの水をたくわえられるように木を植え良質な水を長あまみずく確保します。「緑のダム」とも呼ばれてます。じめん みず き う りょうしつ みず なが

都市林：としりん 緑の少ない都会の中で、遊びや安らぎと憩いの場をつくってくれます。みどり すく とかい なか あそ やす いこ ば

森林浴：しんりんよく 森林の気持ちのいい空気を吸うことは体によいことです。フィトンチッドの中にふくましんりんれるテルペンという物質が体によいとされています。きもち くうき す からだ なか

街路樹：がいろじゅ 車の騒音を抑えたり、人や車を夏の日差しや強い風から守ります。くるま そうおん おさ ひと くるま なつ ひざし つよ かぜ まも

屋敷林：やしきりん 家を暑さや寒さからしのいでくれます。また、外部からの目隠しの役割もあります。いえ あつ さむ がいぶ めかく やくり

防風・防潮林：ぼうふう 畑の作物を風雨や塩害から守ります。ぼうちょうりん はたけ さくもつ ふうう えんがい まも

魚付き林：うおつ 魚のすみかやエサ場を作る役割があります。海岸沿いだけでなく、川の源流も含めてりん さかな ば やくわり かいがんぞい かわ げんりゅう ふく

うおつ い
魚付き林と言われることがあります。